

JANPセンターは COVID-19 感染拡大のため、2019 年度後半から地域での活動を一旦自粛し、慈恵医大附属病院への支援活動を行いました。



1. 慈恵医大第三病院看護部病棟部門・外来部門応援

1) 活動の目的

第三病院看護部の病棟部門ならびに外来部門での看護体制を応援・協力する。

2) 病棟部門応援: 4月20日～5月8日までの平日

7名の教員が延べ28回看護業務を行った。

(清潔ケア、配膳業務、検査への移送、食事介助、口腔ケア、認知症患者への対応等)

3) 外来部門応援: 5月11日～5月29日までの水曜日を除く平日

2名の教員が総合案内での補助業務を行った。

(初診患者対応、有症者トリアージ、隔離ブース・発熱外来ブースへの移動対応等)



2. 葛飾医療センター看護部後方支援

1) 活動の目的

新人看護師への技術演習実施とメンタルサポートの提供とエデュケーションナースの負担軽減を図る。

2) 新人看護師教育チーム3名: 4月20日、22日、27日、29日

37名の新人看護師にシミュレーターを用いて「口腔ケア」「口腔・鼻腔吸引」等の技術演習を行った。

3) メンタルサポートチーム3名: 4月20日～5月11日の間の11日間

新人看護師および在職看護師を対象に全病棟をラウンドし支援ニーズ把握、個人面談を行った。

新人看護師メンタルヘルス研修会を開催した。6月25日



3. 遠隔授業支援

1) 専門学校の授業・実習に対する遠隔授業(e-ラーニング化)を支援する。担当教員4名

2) 慈恵第三看護専門学校: 4月13日支援開始、5月1日学生運用開始、5月18日e-ラーニング開始

- 3) 慈恵柏看護専門学校: 4月23日支援開始、5月11日学生運用開始、6月1日e-ラーニング開始
 * 遠隔授業は円滑に進められています。

4. あそび場保育室支援

1) 活動の目的

コロナの影響で保育園・学童保育に行けない子供たちを預かり、看護師が通常の業務が出来るように支援する。

2) 開設期間: 4月16日～5月29日まで 看護学科校舎 2階実習室 2

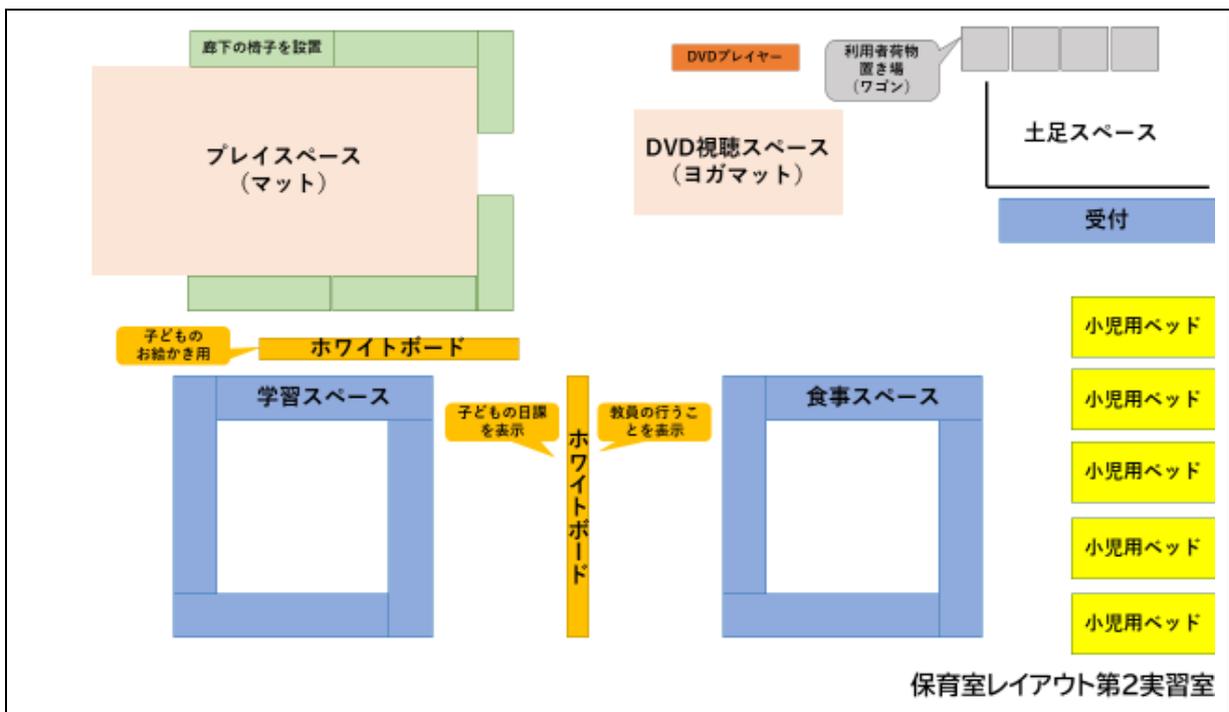
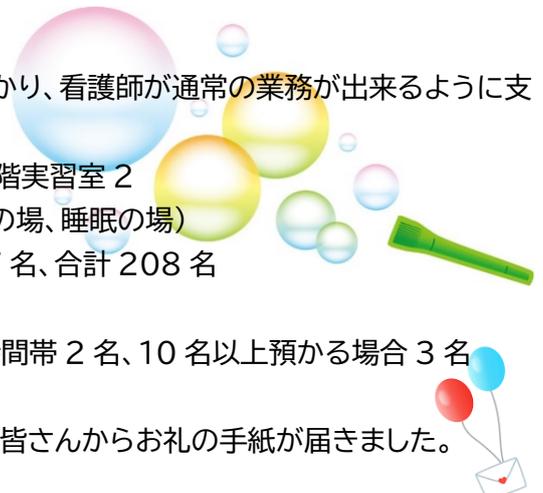
(設置コーナー: あそび場、ビデオ鑑賞の場、学習の場、食事の場、睡眠の場)

3) 年齢: 1歳～9歳、延べ預かり人数: 4月41名、5月167名、合計208名

4) 小学生は1日3回学習の時間を確保した。

5) 教員: 午前7時～13時、午後12時30分～18時 各時間帯2名、10名以上預かる場合3名 支援教員数: 延べ147名(実人数26名)

* 終了後に第三病院看護部から感謝状、子供達と保護者の皆さんからお礼の手紙が届きました。



・大学の体育館やグラウンドがあそび場になりました。

